

草津市産業振興計画に関連する取組について  
(立命館大学)

関連する項目	戦略1：イノベーションの創出支援
	施策(2)：スタートアップ企業等の集積促進
	主な取組事例： -

グラスルーツ・イノベーションの実践

2030年代に立命館大学が目指すべき大学のあり方として、研究活動を通じて社会課題を解決し、社会的価値を創出する「次世代研究大学」の実現を目指している。このため、2021年6月にオープンイノベーションを通じた起業・事業化をワンストップで推進する起業・事業化推進室を立ち上げ、各部門にてそれぞれ実施してきた研究シーズの事業化とアントレプレナーシッププログラムを社会実装の取り組みの中で連動させ、社会還元に結びつけるプロジェクトの起ち上げに着手した。



起業・事業化推進室では、「グラスルーツ・イノベーション（草の根型産学官地連携）」をスローガンに掲げ、課題解決を必要とする地域、場所に研究者・学生が赴き、その場で実装し、システムとして根付かせる研究・地域連携の新たなアプローチとなる「グラスルーツ・イノベーションプログラム（GRIP）」を2021年より大学独自予算により支援している（年間予算1,500万円、3年間で43プロジェクトを支援）。

**グラスルーツ・イノベーションとは？**

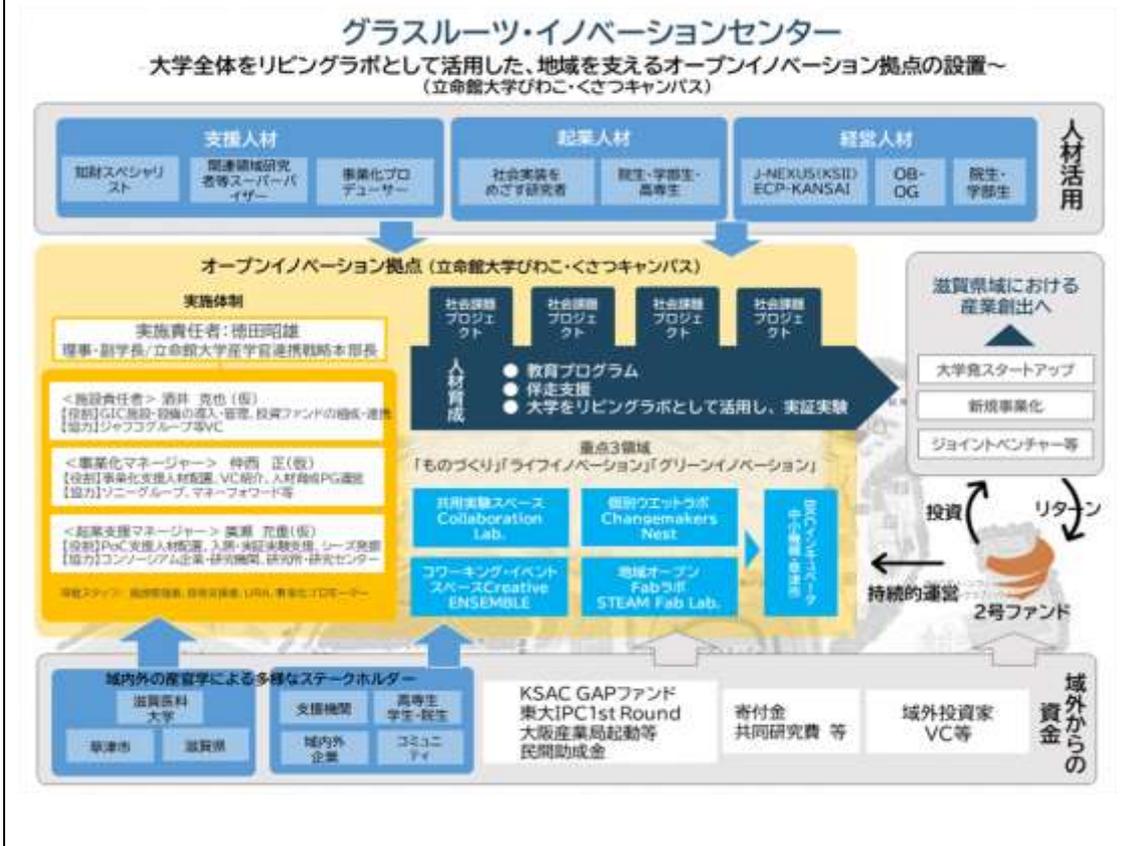
グラスルーツ・イノベーションとは、課題解決を必要とする地域・場所に赴き、その場で研究成果を実装し、システムとして根付かせる「草の根型」の研究・地域連携の実践を指す。

人文社会科学や自然科学といった研究分野を問わず、本大学の研究成果を利用した、地域での実証実験や、地域課題の発見・抽出のためのワークショップ・調査等により「総合知」「実践知」の蓄積に資する活動を広く支援する。

▽グラスルーツ・イノベーションプログラム (GRIP) を立ち上げ、研究助成を開始 (1件あたり50~100万円を支援)



これらの取り組みを基盤に、経済産業省 令和4年度「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備」の採択を受けて「グラスルーツ・イノベーションセンター (GIC)」を新たに建設することとなった。同センターを拠点に産学官に地域・市民を交えた多角的なオープンイノベーション・プラットフォームの形成に取り組み、社会課題の解決と社会実装に資する研究シーズを抽出・結合させることで、グラスルーツ・イノベーションの名に相応しいスタートアップの創出を目指す。



## 社会共生価値の創出

社会と向き合う教育・研究を推進

Sustainable Ecosystem

Ethical Innovation

Global Peace

Human Wellbeing

Legal & Social Issues

建学の精神

自由と清新

立命館憲章

多文化共生、普遍的価値創造、人類的諸課題の解決、  
平和・民主・持続的発展への貢献

教学理念

平和と民主主義

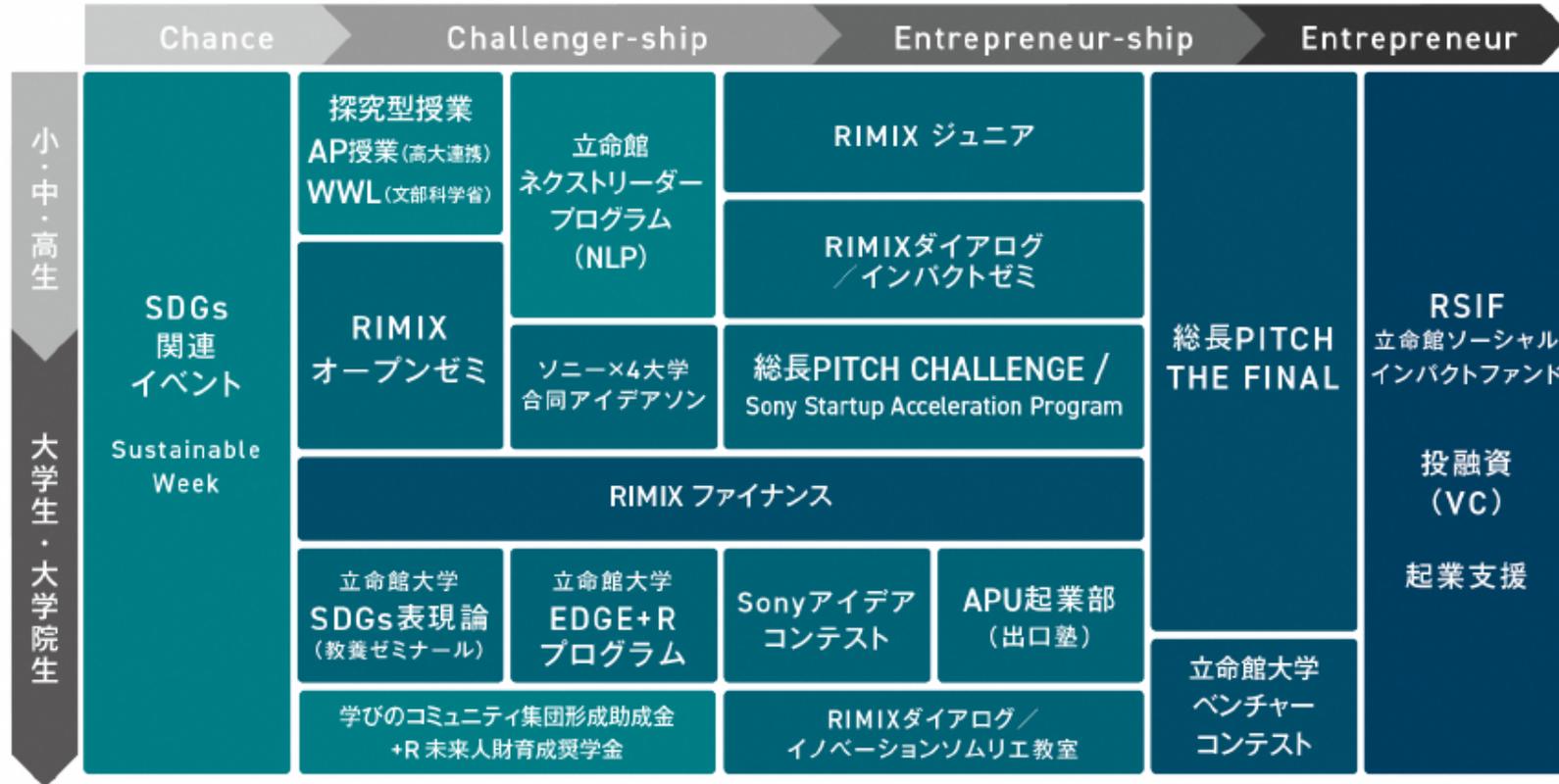
社会や産業、仕事のあり方が急激に変化するVUCAの時代  
大学もこれまで以上に社会と向き合う教育・研究が重要

# 立命館起業・事業化推進室の設置 (2021年6月設置)

## ～グラスルーツ・イノベーションによる社会共生価値の創出～



# アントレプレナーシップ教育とスタートアップ支援



スタートアップ・エコシステム拠点都市（関西拠点KSAC）と連携

## グラスルーツ・イノベーションとは？

グラスルーツ・イノベーションとは、課題解決を必要とする地域・場所に赴き、その場で研究成果を実装し、システムとして根付かせる「**草の根型**」の研究・地域連携の実践を指す。

人文社会科学や自然科学といった研究分野を問わず、本大学の研究成果を利用した、地域での実証実験や、地域課題の発見・抽出のためのワークショップ・調査等により「**総合知**」「**実践知**」の蓄積に資する活動を広く支援する。

📖 **グラスルーツ・イノベーションプログラム (GRIP)** を立ち上げ、研究助成を開始 (1件あたり**50~100万円**を支援)



# GRIP 2021年度採択研究プロジェクト



**大阪府寝屋川市**  
平野川のスラム発生防止を目指した底質改善事業における微生物叢解析  
理工学部 惣田 訓

**京都府京都市 (旧京北町域)**  
資源循環・大学生向け食育・中山間地域の地域をめざすソーシャルビジネス開発  
産業社会学部 景井 充

**岩手県岩泉町**  
GAstroEdu プロジェクト 創造性教育オンラインSDGs ワークショップ「うしアドベンチャー」  
食マネジメント学部 野中朋美

**大阪府豊中市**  
社会的セーフティネットの醸成を促す地域政策の研究—大阪府豊中市庄内地区の取り組み  
産業社会学部 櫻井純理

**神奈川県川崎市**  
DX を用いた市民参画・ウェルネス向上の実証実験にむけたデザインワークショップ  
テクノロジーマネジメント研究科 児玉 耕太

**大阪府茨木市**  
バイオ炭を用いたカーボン・マイナス社会実装：地域参加型エコシステム構築に向けた情報発信  
経営学部 林 永周

**滋賀県長浜市**  
滋賀県長浜市鍛冶屋町の「歴史環境保全型まちづくり」に向けた基礎的調査と活動拠点整備  
理工学部 藤井 健史

**大分県宇佐市**  
地域高齢者を対象とした身体活動に対する身体的、精神・心理的、社会的フレイルの相互関係  
スポーツ健康科学部 真田 樹義

**滋賀県蒲生郡**  
滋賀県産ホエイを原料としたラク トー酢の開発と湖国プライベートブランド化  
生命科学部 若山 守

**滋賀県高島市**  
地域活性化に寄与するための地域交流拠点としての空き家の利活用に関する取り組み  
理工学部 岡井 有佳

**三重県志摩市**  
抑うつ傾向のある人を対象とした滞在型ウェルネスツーリズム実証実験  
産業社会学部 永野 聡

**滋賀県草津市**  
キャンパス周辺の地域資源を活かしたリノベーションまちづくり  
理工学部 阿部俊彦



**大阪府茨木市**

バイオ炭を用いたカーボン・マイナス社会実装:地域参加型エコシステム拡大のための教育活動及び情報発信  
経営学部 林 永周

**大阪府豊中市**

社会的セーフティネットの醸成を促す地域政策の研究—大阪府豊中市庄内地区の取り組み  
産業社会学部 櫻井純理

**島根県吉賀町**

作業特性に即した多様な学びに資するワーキングスペースの構築—地方ワーキングスペースの新たな価値創造を目指して—  
総合心理学部 永井 聖剛

**大分県宇佐市**

地域高齢者を対象とした身体活動に対する身体的、精神・心理的、社会的フレイルの相互関係  
スポーツ健康科学部 真田 樹義



**長崎県五島市**

五島市における磯焼け解決に向けた駆除魚イソズミの猫用飼料としての資源化及びコスト評価  
立命館グローバル・イノベーション研究機構 光斎 翔貴

**京都府向日市**

軽度認知障害・認知症の人と家族に対するレクリエーションアプローチによる心理社会的支援プログラム開発  
スポーツ健康科学部 清家 理

**京都府京都市**

コロナ禍における「まちづくりカフェ事業」の効果と課題の検討  
共通教育推進機構 小辻 寿規

**大阪府寝屋川市**

平野川のスカム発生防止を目指した底質改善事業における微生物叢解析  
理工学部 惣田 訓

**滋賀県大津市**

「菓都大津」再興プロジェクト  
食マネジメント学部 鎌谷 かおる

**大阪府茨木市／愛媛県松山市**

街なかの知覚心理学—あそびゴコロのデザインによるサードプレイスの提供  
総合心理学部 高橋 康介

**滋賀県甲賀市**

国史紫香楽宮の遺跡を活用した地域経済の活性化—類似公園との比較による史跡公園事業化  
経済学部 黒川 清登

**京都府京都市**

高等教育における[障害]学生が拓くSDGs社会の未来:困りごとを抱えた学生・教員と地域社会を架橋するプラットフォームの構築  
産業社会学部 大谷 いづみ

**長野県白馬村**

豪雪地帯の安心・安全を実現する除雪作業支援 IoT システムの研究開発  
情報理工学部 山本 寛

**滋賀県長浜市**

カーボンニュートラルを軸とした新たな教育パラダイムの創出・実践・量的評価指標の開発  
生命科学部 山中 司

**滋賀県・京都府京都市**

外国の食文化を活用した淡水魚食振興—湖魚っとびワイチプロジェクト  
食マネジメント学部 阿良田 麻里子

**滋賀県蒲生郡**

コンヴィヴィアリティを喚起する「小さな物語」創発の場づくり  
経営学部 善本 哲夫



# GRIP 2023年度採択研究プロジェクト



**京都府綴喜郡**

交通事故削減のための周囲確認の自動認識技術の開発と評価  
情報理工学部 野間 春生

**岡山県西栗倉村、京都府木津川市、愛知県名古屋**

マウンテンバイクを活用した持続可能な里山管理戦略～未利用里山資源の可視化と価値化～  
理工学部 山末 英嗣

**大分県宇佐市**

地域高齢者を対象とした身体活動に対する身体的、精神・心理的、社会的フレイルの相互関係  
スポーツ健康科学部 真田 樹義

**長崎県五島市**

長崎県五島市における磯焼け解決に向けた食害未利用イヌズミ・アイゴのドッグフードとしての資源化  
立命館グローバルイノベーション研究機構  
光斎 翔貴

**北海道、栃木県鹿沼市、大阪府、愛知県大府市**

「Whole Family Approach（家族丸ごと支援）」としてのヤングケアラー支援者養成プログラムに基づく基礎理論の開発  
産業社会学部 斎藤 真緒

**滋賀県大津市**

「菓都大津」再興プロジェクト  
食マネジメント学部 鎌谷 かおる

**京都府亀岡市**

住みほぐしによる住環境の向上に関する研究  
理工学部 木村 智

**長野県白馬村**

豪雪地帯における観光活動の総合的な安心・安全を支えるIoTシステムの研究開発  
情報理工学部 山本 寛

**鹿児島県出水市、中国浙江省**

竹林の総合活用実装研究  
竹材のプラスチック代替と竹粉の飼料活用  
政策科学部 周 瑋生



**岩手県盛岡市・滋賀県草津市**

被災地における産官学連携によるグローバル人材育成計画の研究・開発  
経済学部 桑田 但馬

**東京・関西（京滋阪神）**

「関西学生の就業型東京本社インターンシップ」の可能性と有効性の調査と大規模実施  
総合科学技術研究機構 西山 昭彦

**滋賀県守山市**

ウェルビーイング社会の実現に向けた「ピライチ」を軸としたデータ探索と実証  
生命科学部 山中 司

**滋賀県草津市・近江八幡市**

琵琶湖内湖・西の湖の水質の浄化・管理技術  
理工学部 惣田 訓

**滋賀県草津市**

下水道圧送管点検のためのカメラ付き自走式ロボットの開発  
理工学部 加古川 篤

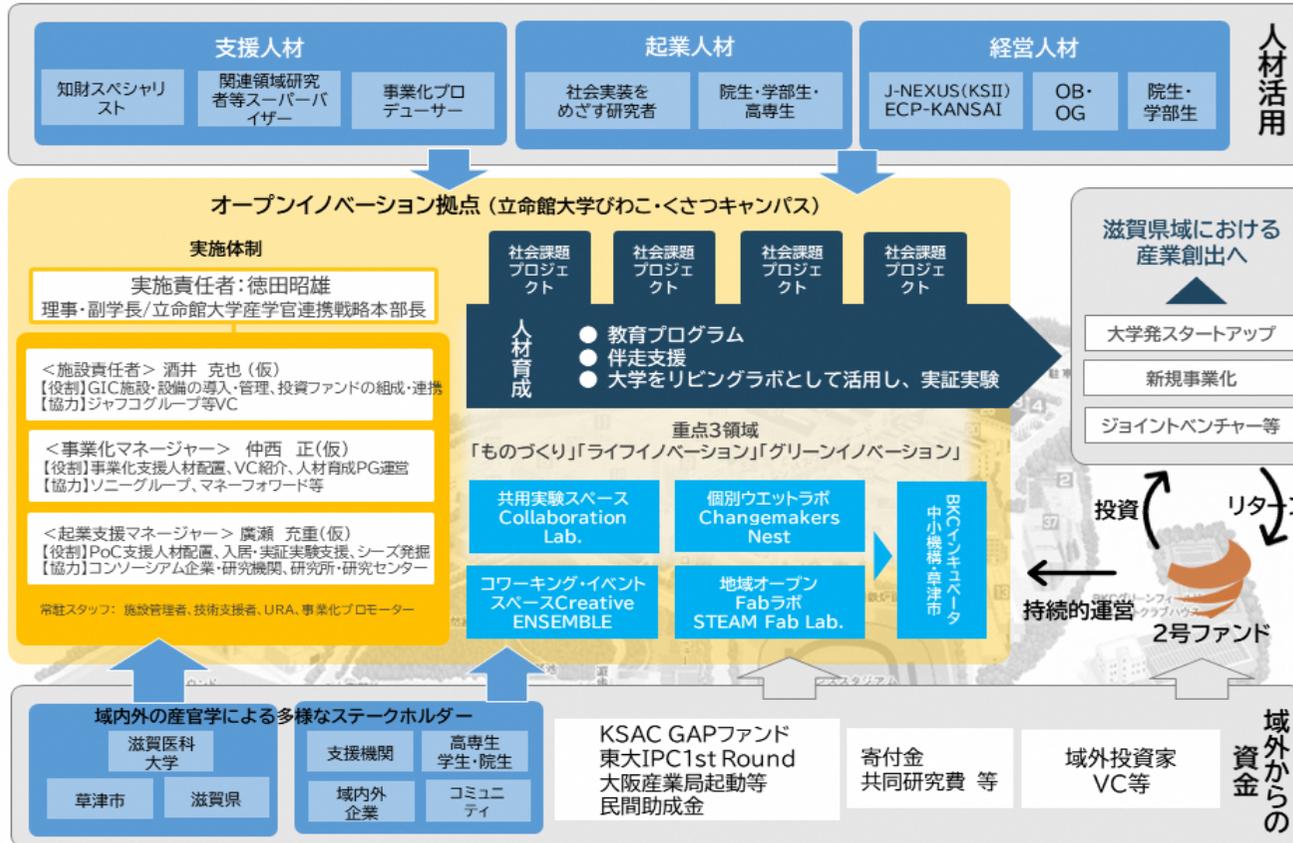
**滋賀県草津市**

作物栽培において窒素肥料低減を実現する農法確立  
生命科学部 深尾 陽一郎

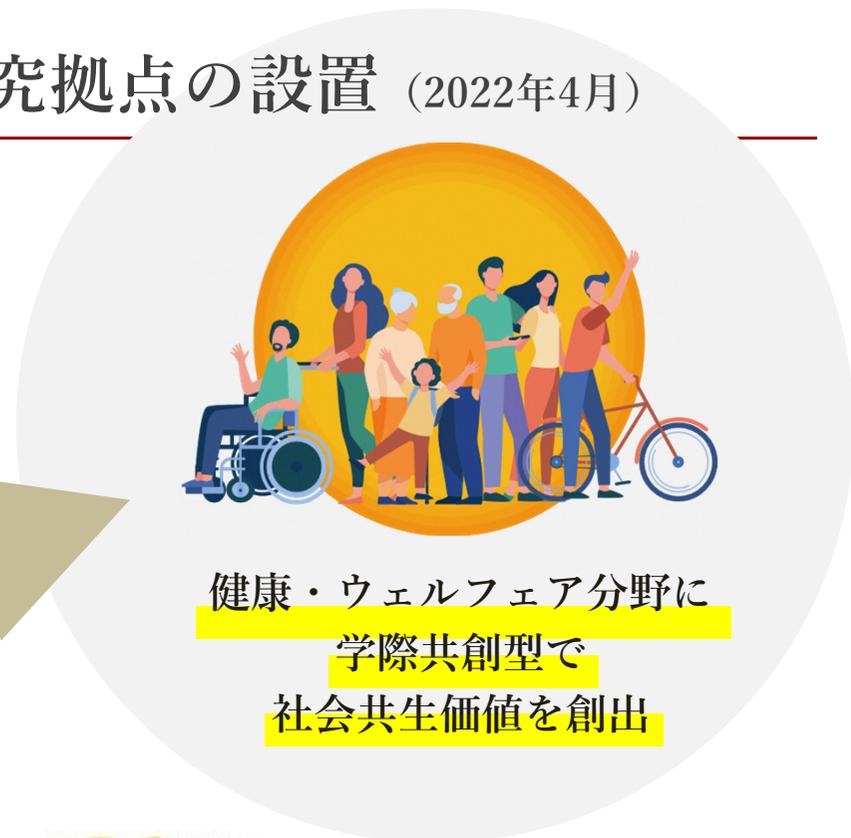
# グラスルーツ・イノベーションセンター (GIC) の新規設置

## グラスルーツ・イノベーションセンター

大学全体をリビングラボとして活用した、地域を支えるオープンイノベーション拠点の設置～  
(立命館大学びわこ・くさつキャンパス)



# ウェルビーイング分野における研究拠点の設置 (2022年4月)



健康・ウェルフェア分野に  
学際共創型で  
社会共生価値を創出

基礎研究から社会実装まで  
一気通貫で担う

スポーツ健康科学  
総合研究所

- ・所属研究者：約80名
- ・研究開発費：約4～5億円/年



## 地域・自治体

自治体や市民と協力して地域課題の解決に  
産学官地に取り組む



スポーツ健康科学  
研究センター



## 研究機関



## 大学

各分野トップレベルの  
研究機関・大学との連携による  
研究体制の確立





# アクティブライフ共創コンソーシアムの設立 (2022年10月)

立命館大学と東京大学が中心となり、産業界から学術・研究機関、地域自治体・市民にいたる多様なステークホルダーによりアクティブライフの実現を目指す学際共創型コンソーシアム。



## 健康・長寿の実現

- ・平均寿命と健康寿命の差ネット・ゼロ社会の実現
- ・生活習慣病発症・重症化ゼロ社会の実現
- ・ゼロ次予防による認知症ゼロ社会の実現

## スポーツを通じたQOLの向上

- ・スポーツで整えるフィジカル・コンディション
- ・スポーツで高めるセルフ・エフィカシー
- ・スポーツがつむぐ他者との共生

## まち・社会の健康の実現

- ・ぬくもり：文化や伝統に根ざした地域コミュニティづくり
- ・まじわり：多世代が交流し、創発し合う場所づくり
- ・にぎわい：人々の活力を生み出す都市づくり

# カーボンニュートラルに向けて技術開発から社会実装まで研究者を糾合

技術開発

**峯元高志** 理工学部 **再生可能エネルギー・太陽光発電**  
 低コスト高性能太陽電池の高効率化  
 化合物半導体薄膜を用いた高効率太陽電池の開発・実証評価

**田口耕造** 理工学部 **再生可能エネルギー・環境発電**  
 環境発電、照明光エネルギーの電力変換、土壌微生物燃料電池

**吉岡修哉** 理工学部 **再生可能エネルギー・風力発電**  
 風力発電、勾玉形垂直軸風車ブレードの開発

**近本智行** 理工学部 **省エネ・建築都市環境整備**  
 ゼロエネルギーハウス、省エネルギー・再エネルギー建築

**金子健太郎** 総合科学技術研究機構 **パワー半導体材料**  
 パワー半導体材料開発  
 パワー半導体材料の半導体基板・パワーデバイスの研究開発

**川畑良尚** 理工学部 **パワーエレクトロニクス**  
 インテリジェントパワーエレクトロニクス  
 スマートグリッドシステム、電動機、発電機

**柿ヶ野浩明** 理工学部 **パワーエレクトロニクス**  
 電力供給システムへのパワーエレクトロニクス応用、電力変換、  
 電力供給システムの安定化・高品質化・高効率化

**清水悠生** 理工学部 **パワーエレクトロニクス**  
 モータ自動設計、バッテリー設計、ワイヤレス給電、人工知能

**折笠有基** 生命科学部 **材料開発・蓄電池**  
 電池・水素エネルギーデバイスの反応解析、革新的な反応原理の創  
 生、蓄電デバイス材料設計

**山末英嗣** 理工学部 **資源循環**  
 持続可能な資源ロジスティクスの学際的研究、材料開発と社会設  
 計、システムオブシステムズ

**渡部弘達** 理工学部 **資源循環**  
 炭素循環に適合したエネルギー変換デバイスの開発  
 炭素析出制御、エネルギー変換の自在制御

政策提言(EBP)  
評価手法

**島田幸司** 経済学部 **環境政策**  
 実験経済学・計量経済学によるエネルギー消費行動分析  
 再生可能エネルギー取引メカニズムの検証

**中野勝行** 政策科学部 **環境影響評価・環境政策**  
 ライフサイクル思考に基づいた環境マネジメント、サプライチェーン中の  
 社会的・気候的リスクの高い個所を特定する方法論開発

**竹濱朝美** 産業社会学部 **環境政策**  
 再生可能エネルギーの普及政策、欧州との比較  
 産総研との電源シミュレーション研究

**橋本征二** 理工学部 **資源循環システム・環境政策**  
 資源循環のシステム評価とシステムデザイン

**長谷川知子** 理工学部 **気候変動影響評価**  
 統合評価モデルによる気候変動問題等の評価  
 (土地利用とCo2、バイオマス、貧困等)

**上原拓郎** 政策科学部 **資源循環システム・環境政策**  
 生態経済モデリング手法の開発による政策提言  
 資源循環・排出抑制のための社会システム・経済学的研究

社会実装

**徳田昭雄** 経営学部 **オープンイノベーション政策・標準化**  
 ビジネスエコシステム形成プロセスにおけるガバナンス・メカニズムの研究  
 日欧米における産官学市民連携によるオープンイノベーション政策

**柴田晃** OIC総合研究機構 **社会システム工学・バイオマス活用**  
 地域未利用バイオマスを使った簡易炭化手法の開発  
 炭素貯留野菜のブランド開発 (クルベジ)

**永野聡** 産業社会学部 **ソーシャルデザイン**  
 地方都市における社会課題の解決、  
 ソーシャルイノベーション

社会制度

**林大祐** 国際関係学部 **環境政策・環境社会システム**  
 気候変動問題とエネルギー利用に関する政治経済学的研究  
 エネルギー転換の政治経済学

**西村智朗** 政策科学部 **国際環境法**  
 温暖化防止に関する国際法の現状と課題の検討



草津市産業振興計画に関連する取組について  
(草津商工会議所)

関連する項目	戦略2：経営基盤の強化支援
	施策(1)：関係機関等との連携によるサポート体制の強化
	主な取組事例：② 販路開拓の支援

草津商工会議所では、経済産業大臣より認定を受けた経営発達支援計画に基づき、小規模事業者支援を実施しております。

その中で、「販路開拓の支援」について、以下のとおりご紹介いたします。

**① 大規模展示会出展支援**

・東京インターナショナルギフトショー

平成29年2月に初出展支援。以降令和3年を除き毎年2月に支援実施。出展にあたっては、当所主催で展示会出展支援プログラムを6か月間に渡り実施。本プログラムにより、自社の強み、顧客提供価値の再分析、効果的な訴求方法の検討など、展示会出展のみならず、通常の経営に活かすことのできる汎用スキル習得につなげることにより、小規模事業者の販売力強化支援を行っています。



・京都インターナショナルギフトショー

令和3年3月より計3回出展支援。当所主催の商品企画塾と題した8社限定の売上拡大を目指した商品のブランディングに重点を置いたコンサルティング受講者を中心に支援を行っています。



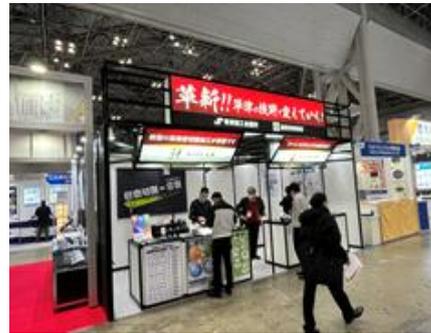
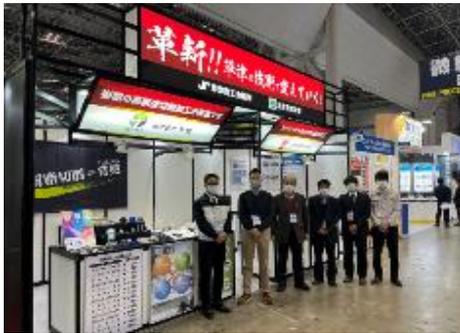
## ・セールスプロモーション事業

製造業向け支援事業として約10年間機械要素技術展等に出展支援。

出展前の約3か月間、当所主催で専門家との個別相談会を実施。

昨年は、商談に導く第一声、60秒プレゼンテーションに重点的に取り組むことで、顧客ニーズから見た自社の強みを言語化することの重要性を実感していただきました。

ただし、中小企業は特化した得意分野（強み）を有していることから、共同出展ではその強みを十分に活かさないことも考えられ、また草津市からの受託事業終了に伴い、今後本事業の実施は未定となっております。



## ② ふるさと企業いいもの発掘市

県内唯一の百貨店である近鉄百貨店草津店にて毎年1月に開催。

平成30年1月に初開催し、令和5年1月で第6回目を迎えました。

11月には当所主催で専門家との個別相談を実施し、商品の魅力を最大限に引き出す展示方法や効果的なPOPについて事前に学び、当日を迎えることで出店効果を高め、販路拡大につなげる支援を実施しています



### ③ キラリエマルシェ

新型コロナウイルス感染症により県境を越えた移動が制限される中、消費者の目を地元に向け域内消費を促進、事業者の売上回復を図り、地域経済活性化につなげることを目的に令和3年9月に初開催しました。

市民交流の促進を目的に設置された“キラリエ草津”を会場とすることでにぎわいの創出にもつながると考え、年5回程度、実施しております。

さらに開催回数を重ねる中で、地元商業施設（イオンモール・エイスクエア等）への出張開催も実施しております。



※ 以上の事業につきましては、現在、国県市等の各種補助金を活用することで、事業者負担を最小限におさえ、実施しております。これからも継続的に実施するためには、財源の確保は重要課題と考えております。

草津市産業振興計画に関連する取組について  
 (一般社団法人草津市観光物産協会)

関連する項目	戦略3：活力に満ちたまちの構築と承継
	施策(2)：観光地域づくりを通じた地域の魅力向上
	主な取組事例：④ 地域資源を活用したまちの賑わい創出 ⑤ 広域連携による観光の推進 ⑥ デジタルマーケティングを活用した観光の推進

④ 地域資源を活用したまちの賑わい創出

(一社)草津市観光物産協会は、地域資源を活用したまちの賑わい創出を図るため、観光事業者や関係団体と連携し、地域の観光資源の発掘や磨き上げを行うとともに、観光の振興に寄与する様々な事業や催し等の活動を行っております。

草津川跡地公園 ai 彩ひろばを発着地とし、約 50km のコースに設置されたエイドステーションを自転車で巡り、4 カ所のエイドステーションでは地元名産や B 級グルメを提供した「びわこ・くさつグルメライド」(昨年 11 月 6 日に実施)では 280 名の方に参加いただき、近畿県外からも多くの方に来訪いただきました。



a i 彩ひろば (スタート時)

宿泊府県	男性	女性	合計
滋賀県	1	1	2
茨城県	1	1	2
埼玉県	2	0	2
東京都	4	0	4
神奈川県	1	1	2
石川県	3	2	5
福井県	4	0	4
岐阜県	4	0	4
静岡県	8	1	9
愛知県	18	4	22
三重県	6	2	8
滋賀県	52	31	83
京都府	23	13	36
大阪府	57	20	77
兵庫県	22	9	31
奈良県	5	1	6
和歌山県	0	1	1
広島県	1	0	1
合計	212	67	299

(左図)

定員 300 名に対し 299 名の参加申込をいただいた。

うち約 2 割の 61 名が近畿県外から申し込みされており、改めて「ピワイチ」の認知度や遠方からの需要を認識できた。

また、観光事業者による地域資源を活用したイベントや、地域が主体となって取り組まれている観光行事等、まちの賑わい創出に寄与する取組に対して補助を行うことで、草津を全国に PR し、観光入込客数や消費額、域内調達率などの向上を図っております。

- (1) 藤の志那三郷創造事業 (藤まつり等)
- (2) イナズマフード GP (昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
- (3) 草津ヨシ松明まつり (参加者数：8,000 人)
- (4) クサツハロウィン (参加者数：30,000 人)



見頃を迎えた藤の花  
(三大神社の藤)



松明の炎と打ち上げ花火  
(草津ヨシ松明まつり)



ユニークなハロウィンカボチャ  
(クサツハロウィン)

## ⑤ 広域連携による観光の推進

草津市・栗東市・守山市・野洲市の湖南4市で構成する湖南観光振興協議会、県域の観光連盟である（公社）びわこビジターズビューローが主催する観光、物産振興事業に参画することで、広域観光の推進を図っております。



びわこビジターズビューローが主催する旅行会社との商談会や物産展などに参加。金山駅構内（名古屋市）で行われた金山キャンペーンには湖南4市（草津市・栗東市・守山市・野洲市）が構成する湖南観光振興協議会で共同参加。

（左写真）

湖南観光振興協議会が令和4年度に主催した、デジタルスタンプラリーのチラシ

（スタンプラリー参加者数：983人）

## ⑥ デジタルマーケティングを活用した観光の推進

地域の事業者を対象にデジタルツールの導入や活用などを支援し、店舗情報の効果的な発信やサービス内容の改善を図っていただくことで、地域の観光地としての価値を高め、観光客の誘致等を推進しております。

また、SNS発信に係るターゲティングや、発信内容・方法等のマーケティングを専門コンサルタントと協調し、ユーザの消費喚起に向けた戦略的な投稿の制作を行っております。



(左画像)

今年で2年目となるデジタルツールの活用セミナー。

令和4年度に実施したGoogleビジネスプロフィールの導入や有効な活用方法に関する講座に引き続き、令和5年度にはInstagramを活用したマーケティング講座を2回に渡り行いました。

(参加者数：47名)



(左画像)

草津市観光物産協会のInstagramのポータルページ。

草津市内の観光施設、スイーツ店やお土産など魅力的な観光情報を多数掲載しています。

(フォロワー数：1,767 (R5.10.20 現在))